

*Talent Education*

才能教育

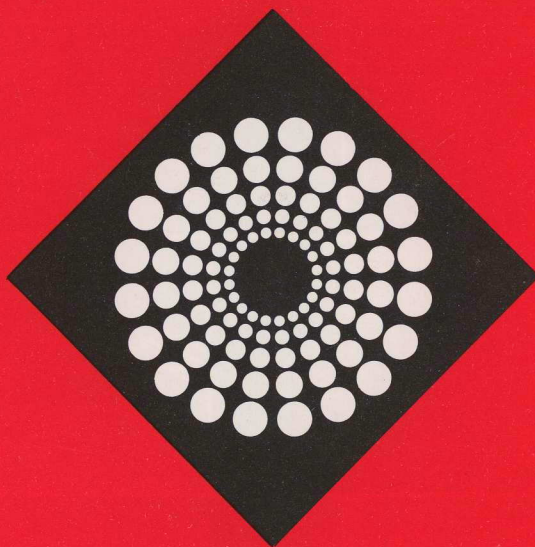


*All Japan Concert*

# 3,000人の児童による大合奏

バイオリン・ピアノ・セロ・箏・フルート・習字

Violin Piano Cello Flute Concert by 3,000 Children



昭和49年 3月24日(日) 午後2時

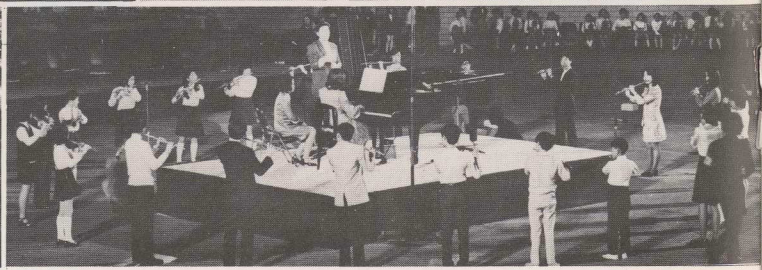
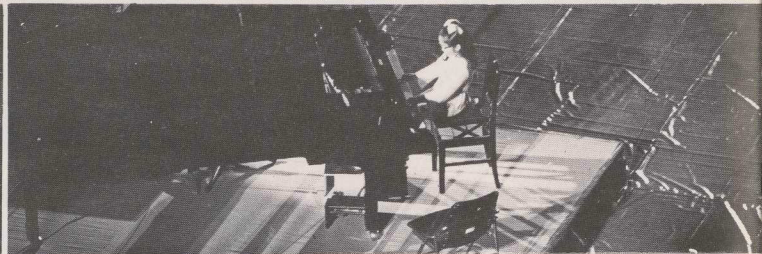
日本武道館大ホール(東京・九段)

主催 社団法人 才能教育研究会

後援 財団法人 幼児開発協会

賛助 財団法人 正派邦楽会





**大会委員**  
 委員長 本多正明  
 副委員長 田中金重  
 実行委員長 宮沢 進  
 副委員長 山本真嗣

**実行委員**  
 高杉忠一  
 松井宏中  
 會 則道  
 足立佳代子  
 東京事務所 水野明夫

**ピアノ伴奏** 鈴木静子 片岡治子  
**書 道** 松本幼児学園 秋山貴美子  
 幼児開発協会 望月美佐  
**賛助出演** 正派邦楽会  
 総裁 中島雅楽之都

才能教育研究会会長

鈴木 鎮 一



未来の世界をめざして

全国大会も第20回、即ち今年で20年の歴史をもつことになりました。「どの子も育つ、育て方ひとつ」、20年来このことを社会に示し、心ある同志相寄り、親と先生との協力によって、すくすくと育つ子供達の姿を世界に訴え続けてきたわけです。

教育の革命……どの子も育つ母国語の教育法が、あらゆる教育に取り入れられる日をめざしています。能力は、生まれつきではない。心も能力も「能力の法則」に従って育つものであることを知ったわれわれは、どの子供も、母国語のように優れた能力に育てることができると信じています。やがては、地上の総ての子供達が、親達や教育者達の目覚めによって、その当然に育つ人間としての美しい心と立派な能力の人に、どの子も育てられる、未来の人類の世界をめざして、われわれは、これからも大いに社会に訴え続けて参りましょう。

幼児開発協会理事長

井 深 大



大合奏を聞く喜び

私は近年、世界中何処へ行っても、三月末は是非日本へ来て、鈴木チルドレンの3,000人の音楽会へ来て下さいと誰にでもすすめている。

来た人は一人残らず「来てほんとうによかった。来てみなければ此のすばらしさは分からない。」と感謝してくれる。他の音楽会でもそうであるが、此の音楽会は特に、来てみて初めて感動するので、こんな場に参加できるのは、大げさに言うとう一生のうち、そう何べんもあることではないだろう。

われわれが日本語を自然に覚えてゆく、それと同じ時期に、同じ様に耳からバイオリンを無理なく身につけてゆくという「教育以前の、教育以外の音楽革命」をととなえ、これを30年以上も実行してこられた鈴木先生の言われることが誰にでも一番はっきり分かるのが、此の音楽会であろう。3,000人の音楽会としての意味以上に、零才の教育スタートの必要性を誰にでも信じてもらうための大実験に、大きな意味を感じる。

才能教育研究会理事  
 大会委員長

本 多 正 明



第20回の全国大会

第1回全国大会は、昭和30年3月27日、皇太子殿下をはじめ、秩父宮妃殿下、高松宮殿下の御臨席を賜り、都体育館で開催された。最初のモーツァルト5番第1楽章の曲が始まると、会場は水をうった様に静まり、感動が流れた。以来20年、会の歩いた道は、必ずしも平坦ではなかった。然し10年前、アメリカに紹介されて以来、この運動は世界的なものになった。今日の大会にもアメリカから50余名の先生、生徒が参加されている。近い将来、世界の子供達が参加し、この大会を世界大会と改称しなければならないと思う。そのとき、初めて世界の人々が、音楽を通して子供の幸せを考え、お互いの真の理解と友情が生まれることを期待する。



開会の辞.....大会委員長 本多 正明  
卒業免状授与.....会 長 鈴木 鎮一  
祝 辞.....名誉会長 徳川 義親  
祝 辞.....理事長 井深 大

第1部 バイオリン合奏

- 1. ガボットニ長調(3巻).....バッハ
- 2. メヌエット.....ボッケリーニ
- 3. 二人のてき弾兵.....シューマン
- 4. ガボット.....ゴセック
- 5. メヌエットNo.2.....バッハ
- 6. 習 作.....鈴木鎮一
- 7. 無窮動.....鈴木鎮一
- 8. アレグロ.....鈴木鎮一
- 9. むすんでひらいて.....外国民謡
- 10. こぎつね.....外国民謡
- 11. 蝶 々.....外国民謡
- 12. キラキラ星変奏曲.....鈴木鎮一

————— 休 憩 —————

第2部

- A. 箏 合 奏
  - a. 飛 躍.....久本玄智
  - b. 六 段.....八橋検校
- B. 習 字 (30人)  
松本幼児学園生徒・幼児開発協会生徒(東京)
- C. セロ合奏
  - a. キラキラ星変奏曲.....鈴木鎮一
  - b. かすみかくもか.....外国民謡
  - c. アレグロ.....鈴木鎮一
  - d. 白鳥.....サン・サーンズ
  - e. ガボット.....ポッパー
- D. ピアノ独奏
  - a. ジーグ.....バッハ
- E. フルート合奏
  - a. アマリリス.....ギス
  - b. メヌエット.....バッハ
  - c. ベニスの謝肉祭.....ジュナン
- F. 弦楽合奏(W. プリムローズ先生指揮)
  - a. メヌエット.....モーツァルト
  - b. ロザムンデより.....シューベルト
  - c. ビバーチェ.....ヘンデル
- G. ピアノ独奏
  - b. ソナチネ 第2・3楽章.....ラヴェル

第3部 バイオリン合奏

- 13. 協奏曲 No.4 第1楽章.....モーツァルト
- 14. 協奏曲 イ短調 第1楽章.....バッハ
- 15. アレグロ.....フィオッコ
- 16. 二つのバイオリンのための協奏曲 第1楽章.....バッハ
- 17. 協奏曲 イ短調 第1楽章.....ビバルディ
- 18. プ ー レ.....バッハ  
キラキラ星変奏曲を出演者全員で合奏

Opening Greetings.....Chairman M. Honda  
Presentation of Diplomas.....President S. Suzuki  
Words of Congratulations.....Hon. President Y. Tokugawa  
Words of Congratulations.....Chairman of E. D. A. M. Ibuka

I. VIOLIN

- 1. Gavotte D Maj.....Bach
- 2. Minuet.....Boccherini
- 3. The Two Grenadiers.....Schumann
- 4. Gavotte.....Gossec
- 5. Minuet No. 2.....Bach
- 6. Etude.....S. Suzuki
- 7. Perpetual Motion.....S. Suzuki
- 8. Allegro.....S. Suzuki
- 9. Go Tell Aunt Rhody.....Folk Song
- 10. Song of the Wind.....Folk Song
- 11. Lightly Row.....Folk Song
- 12. Twinkle, Twinkle Little Star-Variations.....S. Suzuki

————— Intermission —————

II. A. KOTO

- a. Hiyaku.....G. Hisamoto
- b. Rokudan.....K. Yatsushashi

B. CALLIGRAPHY

30 Students from Matsumoto Kindergarten and Tokyo E. D. A.

C. CELLO

- a. Twinkle, Twinkle Little Star-Variations.....S. Suzuki
- b. May Song.....Folk Song
- c. Allegro.....S. Suzuki
- d. The Swan.....Saint-Saens
- e. Gavotte.....Popper

D. PIANO

- a. Gigue.....Bach

E. FLUTE

- a. Amaryllis.....Ghys
- b. Minuet.....Bach
- c. Allegretto, from "Carnival of Venice".....Genin

F. STRING ORCHESTRA(W. Primrose, Conductor)

- a. Minuet.....Mozart
- b. Entracte from "Rosamunde".....Schubert
- c. Vivace.....Handel

G. PIANO

- b. Sonatina F# Maj.....Ravel

III. VIOLIN

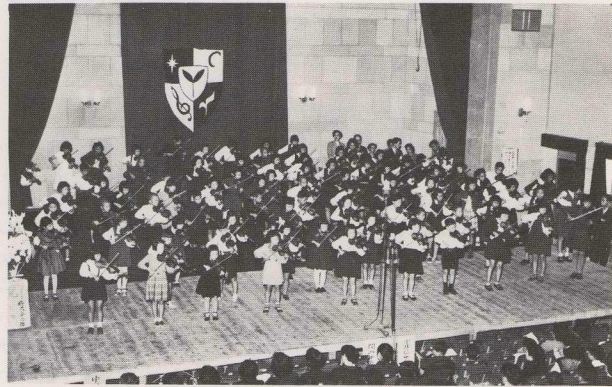
- 13. Concerto No. 4 D Maj. 1st mt.....Mozart
- 14. Concerto a min. 1st mt.....Bach
- 15. Allegro.....Fiocco
- 16. Concerto d min. for Two Violins 1st mt.....Bach
- 17. Concerto a min. 1st mt.....Vivaldi
- 18. Bourrée.....Bach  
Twinkle, Twinkle Little Star-Variations - All Students -



# 大会の思い出



●第1回卒業式は、昭和27年10月25日、東京・神田の共立講堂で行われ、卒業生は196名でした。



●第2回卒業式は、翌昭和28年10月25日、東京の青山学院講堂で行われ、卒業生は363名、この演奏は、ピバルディの協奏曲ト短調の第1楽章です。

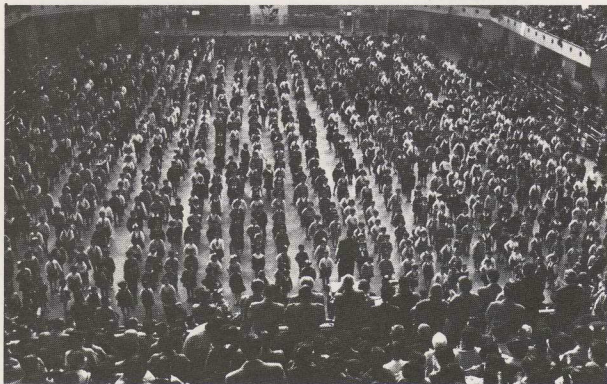


●第3回卒業式より全国大会に含まれて行われることになり、この記念すべき第1回大会は、昭和30年3月27日、当時東洋最大といわれた東京体育館で開催、皇太子殿下始め、全宮様の御来席を迎えました。

この時、800名の生徒によって演奏されたバッハのドッペル・コンチェルト（高杉忠一先生指揮）が、新理研映画社によって撮影され、このフィルムが難産のすえ、やっとアメリカの望月謙児氏の手に入り、アメリカにおける才能教育大発展の礎となりました。



●第2回全国大会は、昭和31年3月30日名古屋市の金山体育館で行われ、ちょうど日本公演で来日中であった西ドイツのシュツットガルト室内楽団の全メンバーを御招待しましたが、子供達の演奏を聞いて、皆様が涙を流してくださいました。

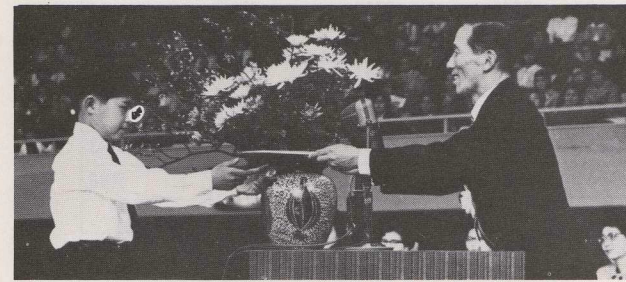


●第9回全国大会は、東京体育館がソビエットのポリショイサーカスのため、急に使用不可能となり、大騒ぎの結果、横浜市の文化体育館に移しましたが、客席が3,000程で数百名の人々があふれ、全く弱りました。



一昨年度大会には、皇后さま、皇太子さま御夫妻、秩父宮さまの御四方がおそろいで御出席くださいました。このようなことはオリンピックのような国家的行事以外には一寸考えられないことで、私ども一同大きな喜びと感激につつまれました。皇后さまはニコニコとくつろがれて、皇太子さまや美智子さま、秩父宮さまとお言葉を交され、午後3時から終了の4時30分まで、ご熱心に子供たちの大合奏をおきき下さいました。

名誉会長の徳川義親先生は明治19年のお生まれですから、このお写真の時（昨年度大会卒業式）は丁度88才、米寿のお祝いの年でした。昭和27年の第1回卒業式の時も勿論のこと、昭和30年の第1回大会以来引続いて毎年卒業生始め出場の全員に祝辞を頂いてまいりました。やがて90才という御高齢ですが、これからもお元気でこの子供たちの大会に御出席くださいますよう、みんなで先生の御健康をお祈りいたしましょう。



これは卒業式の証書授与です。12月になると各教室では卒業曲のテープ吹込が始まります。初等科前期のゴセックのガボットでも2分23秒、高等科のバッハの協奏曲イ短調では1・2・3楽章全部ですから何と18分にもなります。鈴木会長は毎年2,000本以上の驚くべき量の各科卒業テープを毎朝3時から（9時就寝）3ヶ月程かかって、1本1本全部おききになります。そして今日は、実に晴れやかな卒業式です。



大会前日の夜、本会の指導者を中心に海外から大会出席のお客さまなどを交えて200名近くの大会関係者が集まり、最終の準備打合せと歓談のパーティが催されます。この写真には当時ASTA（アメリカ弦楽教育者協会）の会長であった、パン・シクル博士の顔が見えますから丁度10年前、目黒の雅叙園での前夜祭風景です。昨年は品川駅前のホテルパシフィックで開催、今年はお茶の水の主婦の友ビルのホテルで行う予定です。



東京体育館は神宮外苑に5,000坪5,000席の客席をもつ当時最大の会場でした。昭和30年3月の記念すべき第1回大会以来10年もお世話になりましたが、毎年連続してこの大会場をかりるために非常に苦労しました。昭和40年3月の第11回大会には、皇太子殿下、美智子妃殿下、浩宮さまをお迎えし、見事な演出で大会を盛上げたことなど、いろいろな思い出にみたされております。



日本武道館は都心の中心部、宮城の一隅北の丸公園にその堂々とした巨姿を示しており、12,000の固定席のある日本最大の豪華会場です。早いものでここでもすでに7年目になります。東京体育館が次第に手狭になり、昭和41年からここに会場を移したわけです。ところが昨年の第19回大会では出場生徒が3,000名に達し、広大な武道館大ホールのフロア一杯に生徒が満ち溢れ、演出の根本的な変革をせまられることになりました。



## バイオリン科卒業生数と全国大会の記録

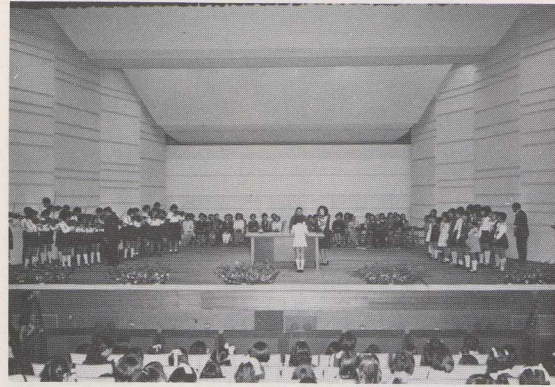
全 国 大 会	卒業式	開催 年月日	会 場	(人) 卒業生	初等科前期 ガボット (ゴセック)	初等科 ブーレ (バッハ)	中 等 科 協奏曲ト短調 (ビバルディ)	高 等 科 協奏曲イ短調 (バッハ)	研究科 協奏曲No.2 (モーツァルト)
	第1回	27・10・25	東京・共立講堂	196					
	第2回	28・10・25	東京・青山学院講堂	363					
第1回	第3回	30・3・27	東京体育館	613					
第2回	第4回	31・3・30	名古屋市金山体育館	481			253	93	17
第3回	第5回	32・3・31	東京体育館	542			334	159	49
第4回	第6回	33・3・30	東京体育館	449			284	126	39
第5回	第7回	34・3・28	東京体育館	463			277	136	50
第6回	第8回	35・3・27	東京体育館	440			271	107	62
第7回	第9回	36・3・28	東京体育館	496			269	139	88
第8回	第10回	37・3・31	東京体育館	409			234	122	53
第9回	第11回	38・3・30	横浜文化体育館	506			306	126	74
第10回	第12回	39・3・30	名古屋市金山体育館	479			327	115	37
第11回	第13回	40・3・27	東京体育館	571			367	137	67
第12回	第14回	41・3・27	日本武道館	1,364		783	323	180	78
第13回	第15回	42・3・26	日本武道館	926		453	252	148	73
第14回	第16回	43・3・24	日本武道館	865		384	279	139	63
第15回	第17回	44・3・30	日本武道館	910		426	274	142	68
第16回	第18回	45・3・30	東京体育館	1,593	656	474	272	137	54
第17回	第19回	46・4・3	東京体育館	1,755	854	372	318	141	70
第18回	第20回	47・3・26	日本武道館	2,321	1,038	626	350	224	83
第19回	第21回	48・3・26	日本武道館	2,325	1,002	695	340	182	106
第20回	第22回	49・3・24	日本武道館						
			計	18,067	3,550	4,213	6,130	2,772	1,206

## 世界の大家に指揮を

- ①日本の交響楽団育ての親、故近衛秀麿先生の弦楽合奏指揮、モーツァルトの小夜曲 (第14回大会)
- ②ソ連の生んだ名バイオリニスト、ダビッド・オイストラフ先生 (第16回大会)
- ③ビオラの演奏で世界最高の名をほしいままにされたウィリアム・プリムローズ先生 (第19回大会)



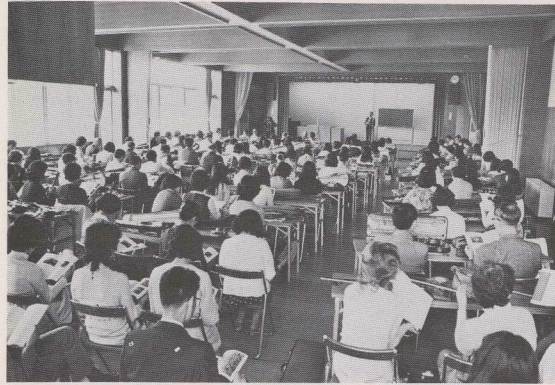
## 才能教育研究会1年の歩み



### 第3回ピアノ科卒業式

松本 3月30日 才能教育会館ホール 卒業生121名  
 東京 4月2日 虎の門ホール 卒業生566名  
 大阪 4月3日 厚生年金会館中ホール 卒業生429名

3月21日の第19回全国大会に引き続き、上記3地区で夫々盛大に行われ、スズキ・メソードによる本会ピアノ科の発展と、子供達の目覚ましい成長ぶりを如実に示しました。



### 全国指導者研究大会

5月21日～26日

宇治川の清流にそい、平等院鳳凰堂に隣接した景勝の地、宇治市の花屋敷浮舟園にて、全国から集まった150余名の先生方が合宿。近くの宇治市民会館において、鈴木会長を中心に文字通り才能教育の研究が徹底的に行われ、今年もトナリゼーション(器楽発声法)を中心に、生徒の音をいかに立派に育てていくかということに6日間の日程があっという間に過ぎてしまいました。



### 第24回夏期学校

7月28日～8月4日

松本市の才能教育会館、市民館、松南高校の三会場で開催。今年も前班、後班の2組に分かれ、前班652名、後班640名、前後班通し49名、計1,341名、付添の父兄を合わせると2,000名を越す大集団になりました。

今年も幼児組が多く、2才より6才までの子供達が581名もいましたが、その演奏は以前には考えられない程の高い水準を示していました。



### 第9回欧米演奏旅行

9月26日～11月4日

まず、英国ではリーズのタウンホール外4ヶ所で、次のスイスは1ヶ所で、アメリカでは14ヶ所、とくにフィラデルフィアのアカデミーホールや、ニューヨークのカーネギーホールという世界屈指の会場での演奏では、いくつかの感動的なシーンを生みしました。

メンバーは、バイオリンでは4才の鎌田佐代さん始め9名、ピアノ1名、指導者は伝田・中島・森・柳田の4先生、引率は本多正明理事でした。





## ベルギー・アンフィオンカルテット演奏会

10月13日～29日の間10都市で演奏

本会出身の志田とみ子さん（第1回卒業生）を第1バイオリンとするフルートカルテットで、第2回目の来日。

今回は、各地支部会員の熱烈な協力によって、名古屋・札幌・京都・飯田・熊本の各市で、又東京・長野・新潟・松本の4市では、ウィーンの名手、ピアノのパドゥラ・スコダさんとの協演で、絶賛をあげました。



## 地区大会

第8回東海大会 11月3日 豊田市体育館

第12回甲信地区大会 11月11日 松本市民館

春の全国大会と秋の地区大会。これは、本会の最も内容の充実した規模の大きい代表的な公開の演奏会です。この7月23日には、初めての関西大会が大阪のフェスティバルホールで行われる予定です。各支部の発表会が地区大会に、更に全国大会へと発展していくわけです。（写真は、甲信地区大会です。）



## マルセル・モイーズ フルート講習会

松本 10月30日～11月2日 才能教育会館ホール

東京 11月5日～11月7日 経団連ホール

関西 11月15日～11月17日 神戸女学院ホール

現在84才、フルートの神様 M.モイーズ先生の来日は夢のようなことでしたが、鈴木会長の決断によって実現いたしました。3地区10日間における講習会には、3,000名以上の参加者があり、先生の驚くべき迫力と心の暖かさを通して音楽の真の喜びを味わいました。



## ルイ・モイーズ フルート独奏会

11月9日～18日

父、大モイーズに同行来日されたルイ・モイーズ先生のリサイタルは、日本初公開でした。

9日の甲府を皮切りに、東京・大阪・名古屋・松本・京都の主要都市で開催され、ここでも各地支部会員の努力が実り、盛大な演奏会の連続でした。

大モイーズの講習会とともに、開設早々の本会フルート科に大きな、よい影響をもたらしました。



## ピアノ研究グループ講習会

10月10日 横浜 教育会館ホール

10月11日 東京 全電通ホール

11月14日 大阪 三木楽器ホール

スズキ・メソッドによる新しいピアノ指導曲集とレコードの第7巻までの完成により、このピアノ研究グループの全国的な浸透は、徐々ではありますが、確実に拡がりつつあります。この講習会は、スズキ・メソッドの本質にふれてもらうために是非必要で、開催地区と回数をできるだけ増していきたいと思えます。



## プリムローズ ビオラリサイタル

1月27日 松本・才能教育会館ホール

ウィリアム・プリムローズ先生は、世界最高のビオラ奏者で、クライスラーとカルテットを組まれたこともあった程です。

今回、鈴木会長のお願いで、松本市民のために特別にリサイタルが開かれ、ビバルディの奏鳴曲へ長調とロ長調、バッハの無伴奏ビオラ組曲第3番の演奏の素晴しかったことは、私達の今後の長い思い出となりましょう。



## 関東地区指導者演奏会

2月11日 東京・共立講堂

指導者による弦楽合奏の公開の演奏会は、たぶんこれが初めてと思います。昨年秋、小林武史先生の熱烈な御指導により才能教育東京弦楽団が誕生し、これを中心とした関東地区指導者の合奏団です。当日は、鈴木会長の記念講演もあり、又自分たちの先生の演奏とあって、2,000席の会場は殆んど満員。とくにスークのセレナーデは立派な出来ばえでした。

### 教室一覧表について

例年このプログラムに本会支部教室の一覧表を掲載いたしておりましたが、今年は紙面縮少のこともあり取止めましたこと御諒承ください。尚、これに代り、もっと完全な全国の教室一覧表を作り、各先生の手許に常備できますよう準備いたしております。

### 才能教育研究会 支部・教室のお問合せは

- 本 部 / 〒390 長野県松本市深志3-10-3 TEL松本0263(32)7171
- 東京事務所 / 〒101 東京都千代田区神田駿河台1-6 主婦の友ビル3階 TEL東京03(295)0270
- 東海事務所 / 〒464 名古屋市千種区春岡通4-15 大沢美良方 TEL名古屋052(751)3436
- 関西事務所 / 〒530 大阪市北区神山町 三笠ビル内 TEL高槻0726(82)1800 参納悦次郎方